

授業科目 日常生活活動学実習				科目コード番号
【担当教員名】 大山峰生	対象学年	2	対象学科	作業
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	30
【概要及び学習目標】				
<p><概略および目標></p> <p>日常生活動作(ADL)と日常生活関連活動(APDL)の訓練、指導の方法を習得し、疾患による相違を理解する。機能的電気刺激(FES)などのADL改善をはかる手法についても学び、FESの適応、可能性について考察する。</p>				
<p><学習目標></p>				
回数	学習の主題	学習内容		学習方法
1	ADL、APDLの訓練、指導のオリエンテーション	ADL、APDLの評価、訓練、指導内容の概略説明		講義
2	ADLの動作分析	ADLの動作分析手法の演習		演習
3～12	ADL、APDLの訓練、指導の実際	食事、排泄、起居移動、入浴、整容、更衣、コミュニケーション、家事動作などの具体的訓練、指導法の習得と、疾患による相違の理解		〃
13	ADL、APDLの訓練、指導のまとめ	各ADLの動作の訓練、指導のチェックポイントのまとめ		講義、討議
14～15	FESの実際	実際の症例を呈示し、FESの適応、可能性についての検討		講義、討議
【評価方法】 出席日数、レポート				
【履修上の留意点】				
【使用図書】				
教科書・参考書等	書名等	著者名	発行所	発行年・価格・その他
教科書	作業療法学全書第10巻 作業療法技術論2 ADLとその周辺・評価・指導・介護の実際	日本作業療法士協会編	協同医書出版社 医学書院	2000年
参考書				
その他 (プリント等)				